(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 9 月 4 日

佐賀県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市金立町大字千布2555番地

氏 名 株式会社ヒラオ

代表取締役 平尾 定樹

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0952) 97-7630

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	; (	カ	名	称	株式会社 ヒラオ
事	業	場	の	所	在	地	佐賀県内事業場
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事美	業場	にま	377	て現	に行	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	07 職別工事業(設備工事業を除く)
	2	事	業	の	規	模	元請完成工事高 52,831千円
	3	従	Ž	<b></b>	員	数	6人
					の- ) エ		別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	英廃棄物の処理に係る管	 管理体制に関する事項										
,	(管理体制図)											
		<b>华</b> 丰 <u>斯</u> ·兹尔										
	<u> </u>	代表取締役										
		 営業部										
		<u></u>										
		各現場職長										
産業	英廃棄物の排出の抑制に	- 関する事項										
		【前年度(令和6年度)美	<b></b> 毛績】									
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり									
		排出量	t	t								
	①現状	(これまでに実施した取組		ί								
		特になし										
		111(-12)										
		【目標】										
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり									
		排 出 量	t	t								
	②計画	(今後実施する予定の取組)										
		・再生利用を行う処理業者への処理委託を積極的に行う ・有価物や再生資源化可能な産業廃棄物の選別を徹底										
		日画物(廿工貝伽山马配は圧未洗米物・2、透別と徹底										
<b>☆ ₩</b>	で成本幅の八川に関すっ	· 車項										
生素	i廃棄物の分別に関する 「	) 争頃 ┃ (分別している産業廃棄物	かの種類及び分別に関する	く 取 組 )								
		(分別している座未廃業や		J 4X/\L								
	①現状	   特になし										
		(今後分別する予定の産業	芝廃棄物の種類及び分別に	こ関する取組)								
	②計画											
	<b>₩</b> □ □	廃棄物の再資源化を図る	ために、各現場での分別	川を徹底								

自ら	っ行う産業廃棄物の再生	三利用に関する事項											
		前年度(令和6年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類											
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	+	+									
	①現状	(これまでに実施した取)	<u>                                     </u>	t									
		【目標】											
		産業廃棄物の種類											
		自ら再生利用を行う											
	②計画	産業廃棄物の量(今後実施する予定の取	t t	t									
		「行後夫肔りる」たの取	科上)										
自ら	っ行う産業廃棄物の中間	別処理に関する事項											
		前年度(令和6年度)実績】											
		産業廃棄物の種類											
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t									
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	,	,									
		(これまでに実施した取	<u>t</u> 組)	t									
		【目標】											
		産業廃棄物の種類											
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t									
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t									
		(今後実施する予定の取											

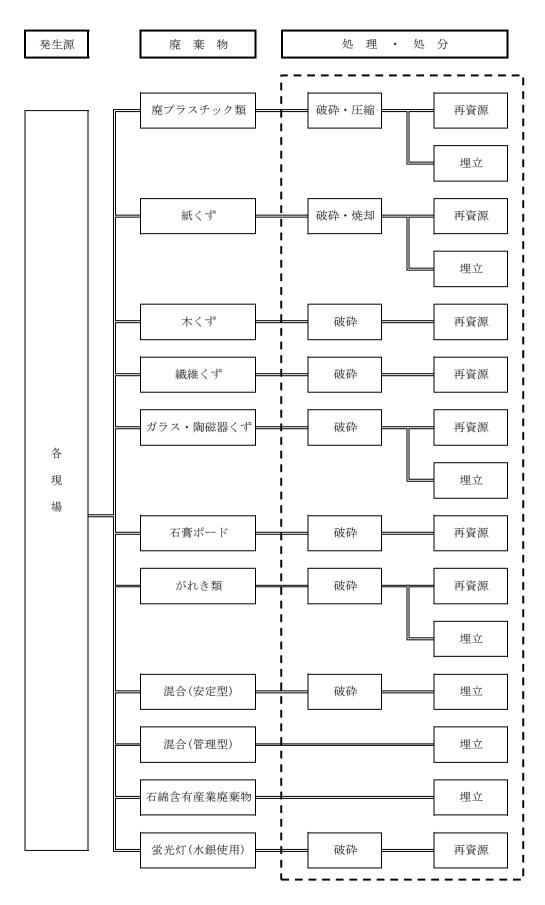
自ら行う	う産業廃棄物の埋立	<ul><li>処分又は海洋投入処分に関</li></ul>	する事項										
		【前年度(令和6年度)実	績】										
		産業廃棄物の種類											
(I	〕現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t									
		(これまでに実施した取組)	)										
		【目標】											
		産業廃棄物の種類											
2	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t									
		(今後実施する予定の取組)	)										
産業廃棄	<u></u> 実物の処理の委託に	関する事項											
		【前年度(令和6年度)実	績】										
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり										
		全処理委託量	t	t									
		優良認定処理業者への 処理 委託 量	t	t									
		再生利用業者への 処 理 委 託 量											
		認定熱回収業者への	t	t									
	現状	型 理 委 託 量 認定熱回収業者以外の	t	t									
		熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t									
		(これまでに実施した取組)	)										
		特になし											

	【目標】									
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
	全処理委託量	t	t							
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t							
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t							
②計画	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t							
	・優良認定処理業者へ	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への処理委託を積極的に行う								
	<ul><li>・再資源として販売している処理業者への処理委託を積極的は</li><li>・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努める</li></ul>									
※事務処理欄										

### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# ④産業廃棄物の一連の処理の工程



----産業廃棄物の流れ

-----委託処理部分の範囲

### **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

<b>全業廃棄</b> 物	かの排出の抑制!	に関する	事項															
	【前年度(令和	【前年度(令和6年度)実績】																
①現状	産業廃棄物	の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	排 出	量	84.595 t	9.270 t	313.905 t	13.492 t	75.280 t	5.040 t	1280.371 t	16.706 t	0.130 t	62.956 t	1.441 t	t	t	t	t	t
	【目標】																	
②計画	産業廃棄物	の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	排 出	量	70.000 t	8.000 t	250.000 t	10.000 t	70.000 t	4.000 t	1000.000 t	12.000 t	0.100 t	60.000 t	0.800 t	t	t	t	t	t

(第3面)

①現状	【前年度(令和6年度)	【前年 <del>度(</del> 令和 6 年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	+	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】					·	·									<u> </u>	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	ŧ	
ら行う産	産業廃棄物の中間処理に関	引する事項															
	【前年度(令和6年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
<ul><li>①現状</li></ul>	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	+	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	-	t	t	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

### 様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産	産業廃棄物の埋立処分又に	は海洋投入処	分に関する	— <u>—</u> 事項													
	【前年度(令和6年度)	実績】															
TTE JI	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t		t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
'	【目標】																
@#L=#	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	進光灯(水銀使用)					
②計画-	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物	産業廃棄物の処理の委託に関する事項														<del>_</del> _		
	【前年度(令和6年度)	前年度(令和6年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	全処理委託量	84.595 t	9.270 t	313.905 t	13.492 t	75.280 t	<u>5.040</u> t	1280.371 t	16.706 t	0.130 t	62.956 t	1.441 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	21.070 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	24.800 t	0.000 t	607.627 t	5.926 t	0.000 t	4.144 t	0.000 t	t	t	t	t	t
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	63.525 t	9.270 t	313.905 t	13.492 t	50.480 t	5.040 t	672.744 t	10.780 t	0.130 t	58.812 t	1.441 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合(安定型)	混合(管理型)	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯(水銀使用)					
	全処理委託量	70.000 t	8.000 t	250.000 t	10.000 t	70.000 t	4.000 t	1000.000 t	12.000 t	0.100 t	60.000 t	0.800 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	30.000 t	1.000 t	100.000 t	1.000 t	30.000 t	1.000 t	650.000 t	6.000 t	0.050 t	20.000 t	0.500 t	t	t	t	t	t
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	40.000 t	7.000 t	150.000 t	9.000 t	40.000 t	3.000 t	350.000 t	6.000 t	0.050 t	40.000 t	0.300 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t